

新宿公民館便り

～つどい まなび つなぐ～

「師走」は江戸時代以降の当て字らしく、万葉の時代には「十二月」を「しはす」と呼んでいたそうだ。

仕事、四季、^{とし}年の「し」、果つるの「はす」だとか。能登半島大地震から間もなく一年。元日に起きた衝撃の映像は忘れられない。誰でもがさまざまな思いを抱えながら一年が満ちていくのだろう。

12月の異称は「^{としみづき}年満月」。

主催事業報告 11/27(水)「太巻き寿司づくり」

人気の太巻きづくり講座。管理栄養士のお二人にご指導いただきました。今回の模様は「花椿」と「トンボ」です。

レシピを見ながら作業を進めるのではなく、初めに先生が実際に作りながら、作る手順や巻き方をすべて説明してから始まりました。途中、二人の先生がテーブルを回りアドバイスをしながら、それぞれ巻いていきます。模様をきれいに作るために中に詰める小さい巻物の配置には気を配っていました。そして、太巻きに包丁を入れて・・・ぱっと開いた模様を見て歓声！参加した皆さんは、手作りの喜びを感じることができたようです。

桃色すし飯やのり、野沢ん、たくわん、山ごぼう、煮かんぴょうなど、講師のお二人が事前に人数分用意してくれていたのも、スムーズに作業ができて、受講者の方も感謝していました。

アンケートの一部を紹介します。

・短時間でできたのは先生の準備が十分だったからだと思います。3人で1テーブルはちょうどよい人



【今年最後のスーパームーン】

数かと思えます。・相談しながらできて楽しかった。本を読んで実施するより指導がわかりやすかった。どこが自分の失敗だったのかがよくわかった。・立派な太巻き寿司ができて大満足です。説明がわかりやすく思っているより良くできたと思います。・不器用ながらも和気あいあいと楽しくできました。思っ以上に模様がきれいにできてうれしかったです。・トンボ模様はむずかしかった。

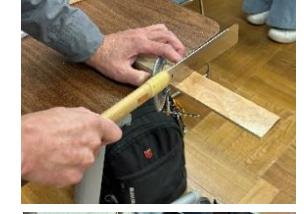
主催事業報告 11/30(土) 「大人の木工作」

長年この講座で指導していただいている天野先生による木工作の講座です。今年は角盆とメモ用紙立てを作りました。

スギとヒノキの香りも楽しみつつ、材料を丁寧にボンドで張り合わせながら作業を進めます。薄い板をのこぎりで切断する際は、あまり力はいれずに慎重にのこぎりを扱っているようでした。形ができたなら、粗さの異なるサンドペーパーを使い分け表面をつるつるに磨きます。そして最後に、出来上がった角盆には木工用のニスを塗り込むようにして磨き、乾いたらもう一度ニスを塗って仕上げました。時折部屋をのぞくと、声一つ聞かれず、皆さん、一心不乱に取り組んでいました。モノづくりの楽しさ、木のあたたかさに触れた講座となりました。

アンケートの一部を紹介します。

・事前準備の大変な講座だと思いました。その分、とても楽しく受講できました。童心に帰ることができました。楽しかった。・丁寧な説明でした。ありがとうございました。・とても楽しい時間でした。また参加したいです。短い時間にすてきな作品が仕上がり、大変満足しています。すばらしい講座をありがとうございました。



います。とても分かりやすく、そしてとても楽しかったです。来年も楽しみにしています。

冬を彩る

今年も千葉市緑政課より花の苗をいただきました。寒さに強い冬の定番、パンジー、ビオラ、シロタエギクです。正面玄関と裏庭に移植してみました。日が当たりにくいことや、管理者(迎です)の未熟さもあって十分に保つことができないかもしれません。特に今年は、これまで乾燥した日が続き、お花さんもこまっているでしょう。かといって、水を遣りすぎてしまう管理者のせいで、かえって弱らせてしまうこともこれまで多々ありました。春先まできれいな花を私たちに楽しませてくれるよう、丁寧に見ていきたいと思ひます。“時々、ちらっと、皆さんの目にとめていただけると嬉しいです”(お花さんのつぶやき)。



ご案内

「お口のフレイルと栄養の関係」と題して、【あんしんケアセンター中央】の主催による、講演会が開催されます。大塚食品とロッテの方にお越しいただいて、「レトルト食品を使った、簡単・健康レシピ」、「噛むことと口腔機能について」の2本立てです。受付窓口にチラシがありますので、詳しくはそちらをご覧ください。

主催事業のお礼

今年度の新宿公民館では、4月から12月まで32の主催事業を行いました。皆様には多くの応募をいただきありがとうございました。大変人気のある講座では、抽選の結果、ご参加できなかった方も多くいらっしゃったかと存じます。心苦しいばかりです。2月には「キムチづくり」、3月には「和菓子づくり」を予定しています。どちらも毎年人気があり抽選になろうかと思ひますが、積極的に応募してください。受付のチラシをお手に取りご覧ください。来月よりご応募お待ちしております。

ちょっとブレイク 長崎ブーム?~軍艦島~

今、長崎市の「端島(通称:軍艦島)」が注目されています。先日の朝日新聞にも掲載されました。日曜ドラマ「海に眠るダイヤモンド」を毎週ドキドキして見ているのですが、長崎弁が聞かれるのもまた楽しいものです。

さてその“軍艦島”ですが、私が長崎にいた学生時代まで(1978年まで)は知りませんでした。戦後から高度経済成長時代は、全国に炭坑はあって活況を呈していたのでしょう。九州では三池炭鉱は有名だったと思ひます。しかし各地で起こった坑内事故やエネルギー需要の変化からすたれていったのはご存じのことかと思ひます。ドラマでも描かれていますように、端島炭鉱もその流れから1974年に閉山となり、世界第1位の人口密度を誇った端島からも人はいなくなりました。

世界遺産に登録された2009年から再び脚光を浴びることになります。私も2013年2月に上陸したことがあります。当時は長崎市大波止からクルーズ船で1時間ほど。上陸すると案内人の方について歩道を進みますが、島内をぐるりと散策することはできず、決められたところしか見ることはできません。風化が進み、足場も建物も崩れ落ちかけているからです。鉄骨が丸出しになってしまったコンクリートの建物を見ながら、案内の方の話を聞いているとぐっと感動するものがあつたことを覚えています。1時間ほどの説明ですが大変有意義な時間でした。

その時は、ドラマの舞台になるとは思ってもいませんでした。クルーズ船のチケットも前日にとれたのですが、今では大変な人気で、なかなか予約が取れないほど人が押し寄せているそうです。このドラマをきっかけに、戦後、長崎の近くにあつた小さな島(もともとは岩礁)で懸命な生活があつたことを知っていただけたらと思ひます。そしていつか、長崎市をお訪ねください。名所、旧跡が市内には数多くあります。路面電車でのんびり回ってみてください。わからん文化(和華蘭文化:日本と中国とオランダ)の歴史と食にも触れていただけたらと思ひます。では、この冬の旅行は長崎で決まり。

「ちゃんぽん食べに行かんねえ。おいしかよ〜」

(自称、長崎市観光大使 千葉市支部新宿地区担当)

今年の公民館だよりはこの号で終了です。1月からまた再刊します。皆様、よいお年をお迎えください。

早朝の寒月 街に冴えわたり

(新宿公民館 館長 迎 浩二)